

製品名: RFC2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87071**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:10-1:100
分子量	Calculated MW:39 kDa; Observed MW:39 kDa

抗原情報

遺伝子名	RFC2
別名	RFC40
遺伝子ID	5982
SwissProt ID	P35250
免疫原	ヒト RFC2 の合成ペプチド

背景

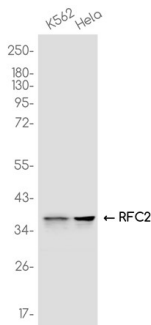
この遺伝子は、アクチベーター1小サブユニットファミリーのメンバーをコードします。DNAポリメラーゼδおよびεによるプライ

ミングされた DNA テンプレートの伸長には、補助タンパク質である増殖細胞核抗原 (PCNA) と複製因子 C (RFC) の作用が必要です。複製因子 C はアクチベーター 1 と呼ばれ、5 つの異なるサブユニットからなるタンパク質複合体です。この遺伝子は 40kD のサブユニットをコードしており、このサブユニットは ATP 結合に関与し、細胞生存を促進する可能性があることが示されています。この遺伝子の破壊はウィリアムズ症候群と関連しています。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。この遺伝子の偽遺伝子は 2 番染色体上に定義されています。[RefSeq 提供、2013 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



RFC2 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、K562 HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。